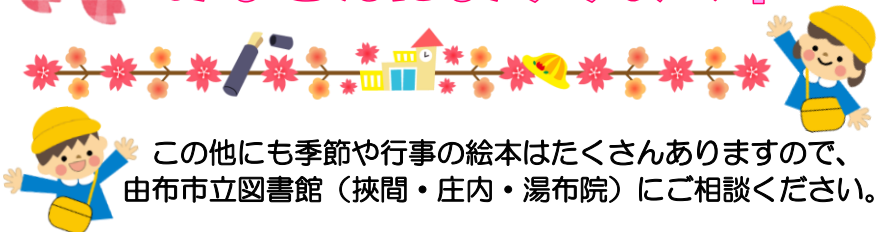


保育園・幼稚園・こども園の みなさんにおすすめの本

春号



『おおい子どもの本のページ』も参考にどうぞ



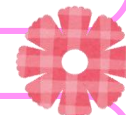
この他にも季節や行事の絵本はたくさんありますので、
由布市立図書館（挾間・庄内・湯布院）にご相談ください。

湯布院 所蔵



「おはなみバス」 2・3歳から
すとう あさえ／ぶん いりやま さとし／え
2020年2月 ほるぷ出版／発行

おはなみバスが走ります。びっびー。りすさん、うさぎさん、たぬきさんを乗せてさくらやまに出発。みんなは、つくってきたおはなみ弁当を見せっこして…。巻末に行事のミニ解説つき。



挾間 所蔵



「はるねこ」 3・4歳から
かの ゆうこ／文 松成 真理子／絵
2011年2月 講談社／発行

今年の春は、どこかへん。そんなとき、春の種をなくしたというねこが、あやのもとにやってきて…。不思議なねこ少女の出会いを描いた、心あたたまる物語。



挾・庄 所蔵



「はるかぜさんぽ」 2・3歳から
えがしら みちこ／作
2017年3月 講談社／発行

風によって、おさんぽしよう！女の子が春のおさんぽで出会ったのは、さくら、しゃぼん玉、だんごむし、たんぼほのわたげ…。思わず外へ出かけたくなる、季節感たっぷりの絵本。おさんぽシリーズ。

挾・庄・湯 所蔵



「いちご」 2歳から
平山 和子／さく
1989年4月 福音館書店／発行

畑で寒い冬を越し、初夏、緑の葉の陰に小さいいちごの実がなりました。いちごの実が日に日に赤く色づき、甘いいちごになってゆく様子をていねいに描きます。



挾間 所蔵



「たんぼほのおくりもの」 3・4歳から
片山 令子／作 大島 妙子／絵
2012年3月 ひかりのくに／発行

冬ごもりから目を覚ました、くまのロンくんは待ちきれなくて、雪の中、春を探しに出かけました。いつの間にか夜になって、道に迷ったロンくんは、茶色いくまのマロンちゃんの家にとどり着き…。



庄内 所蔵



「はるといえば…」 0歳から
新井 洋行／作
2020年2月 アルファポリス／発行

はるといえば、桜。ピンクの花びら、ひらひら。ひらひらといえは、ちょうちょ。黄色いはねがとってもきれい。黄色といえは…。はる、なつ、あき、ふゆ、みーんな、いいね！季節を楽しむ連想えほんシリーズ。



挾・湯 所蔵



「おおきくなるっていいこと」 3歳から
中川 ひろたか／文 村上 康成／絵
1999年1月 童心社／発行

またひとつ大きくなったみんな、おめでとう。大きくなるってどんなことか、わかるかな？洋服が小さくなること、水に顔を長くつけられること、あんまり泣かないこと、それからほかにもいっぱいあるんだ。